

令和 6 年度中野市立博物館協議会

審議会等の名称	中野市立博物館協議会
担当課（連絡先）	中野市立博物館 電話 22-2005（内線：8122）
開催日時	令和 6 年 9 月 18 日（水） 午後 3 時から午後 4 時 40 分
開催場所	中野市立博物館 大研修室
出席委員	大西浩次委員、土屋積委員、寺島正友委員、水澤教子委員、山崎圭委員、山田正子委員
出席職員	柴本教育長、舘林館長、徳永副館長、大滝主査、柳生学芸員、水橋学芸員
会議資料	令和 5 年度 中野市立博物館事業実績（資料 1）、令和 6 年度 中野市立博物館事業計画（資料 2）
会議内容	委員 9 名中 6 名が出席。博物館条例第 17 条第 2 項により過半数の出席で成立するため、本協議会は成立。会長に大西委員、会長職務代理者に水澤委員を選出。 (1) 令和 5 年度 中野市立博物館事業実績について ○情報発信について。 →SNS を活用している。広報誌、HP、フェイスブックの他、新たにインスタグラムも始めた。 ○ふるさとレポート発表会の成果について。 →発表成果が次につながる方法を考えていきたい。 ○収蔵資料の活用について。 →①収蔵がしっかりできているか、②資料のデジタル化・データベース化、③文化財（資料）について、市民にとって価値があるものだと感じていただく、を課題としていきたい。 ○中野市立博物館収蔵資料の整理・公開についての検討をお願いしたい。 (2) 令和 6 年度 中野市立博物館事業計画について ○特になし (3) その他 ○特になし。
その他	○中山晋平記念館・高野辰之記念館は指定管理となったが、博物館と共通で何かやっているか。 →小さい土人形の販売などで連携したことはある。所管が異なるため、同じテーマで企画展を行うようなことはできていない。 ○博物館のコンセプトについて明確化したほうがよいのではないか。 →博物館の立ち位置について、立地条件も含めて何が強みかをわかりやすくしていきたい。